

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月23日

計画の名称	高島町における安全で安心な下水道整備（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	高島町												
計画の目標	下水道施設の整備、耐震化及び計画的な改築更新を行い、安全・安心で快適な暮らしを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	148	A	148	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	R3末
1	管路の老朽化診断率を0%（H29）から8%（R3）に増加させる。 管路の老朽化診断達成率（%） 管路の老朽化診断延長（Km） / 下水道管路延長（Km）	0%	8%	8%
2	老朽化したマンホールポンプ設備更新を0%（H29）から100%（R3）に増加させる。 マンホールポンプ設備更新率（%） マンホール設備更新箇所（箇所） / マンホールポンプ設備（箇所）	0%	48%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H29	H30	H31	R02	R03					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	高畠町	直接	高畠町	管渠(汚水)	改築	管路施設改築・更新	ポンプ設備更新 N=25箇所	高畠町						75		策定済		
	A07-002	下水道	一般	高畠町	直接	高畠町	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント計画に基づく基礎調査	点検調査及び検討業務	高畠町						36		策定済		
	A07-003	下水道	一般	高畠町	直接	高畠町	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント計画策定	計画策定業務	高畠町						37		策定済		
												小計						148			
												合計							148		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて評価を行い、今後の整備計画の検討を行う。	令和4年度
	公表の方法 町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	整備後の老朽化や劣化状況等を診断し、安全かつ持続的な整備を実施するための長寿命化計画を策定することができた。 マンホールポンプ設備更新により、ポンプの故障や異常による機能不全が一部解消され整備効果が発揮された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道施設のストックマネジメント計画に基づき事業を実施し、効率的かつ効果的な下水道施設の維持・整備を実施する。</li> <li>・ マンホールポンプ設備更新を完成させ、安全で安心な下水道整備を実施する。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	8%	計画通りに診断を進め、中間目標年であるH31末時点で7.90%の実績値となり早期の事業進捗を得ることができた。中間目標年以降も効率的に事業を実施し、計画以上の実績値を得ることができた。
	最終実績値	8%	
2	最終目標値	100%	計画的に整備を進めてきたが、各年度において他事業（管路の老朽化診断事業）との事業調整を実施したところ計画通りの事業進捗が困難となり、最終目標を下回る結果となった。（計画設備25箇所（100%） 実績18箇所（72%））
	最終実績値	72%	